

2024年8月26日

各位

SBIいきいき少額短期保険株式会社

“地震・防災”に関するアンケート調査（第13回）を実施
～9月1日は「防災の日」～
「地震・津波」への不安が最多、罹災証明書を3人に1人が「知らない」と回答

SBIいきいき少額短期保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：採田 祐治、以下「当社」）は、9月1日「防災の日」に合わせて、持ち家（一戸建て、分譲マンション）にお住まいの全国20歳以上の方を対象に“地震・防災”に関するアンケート調査を実施し、1,111名の方から回答を得ました。

この「防災の日」を通じて、皆さまの日常における防災意識の向上、対策の進展があることを願っております。概要は以下の通りです。

※本調査は、地震補償保険を販売するSBIリスタ少額短期保険株式会社が2012年から実施し、現在は当社と共同で保険引き受けを行っていることから、当社で継続して実施しているものです。今回で累計13回目の調査となります。

■アンケート調査結果のサマリー [参照ページ]

地震・防災について

- ① **現在、不安を感じる災害は「地震・津波」が最多、2人に1人が回答。** [別紙 P.1]
 - 「地震・津波（55.6%）」が過半数で最多となった。
- ② **近い将来、住んでいる地域で「大地震（震度6強以上）が発生すると思う」人は57.8%。** [別紙 P.1～2]
 - 「大地震（震度6強以上）が発生した場合、自宅が倒壊や損傷などで被害を受けると思う（どちらかといえばを含む）（64.7%）」は、昨年より2.2ポイント上昇した。
その理由は「築年数が経過しているから（58.7%）」が最多となった。
- ③ **大地震（震度6強以上）が発生した場合、避難を考えるタイミングの最多は「建物が被害を受けたら」。** [別紙 P.3]
 - 「建物が被害を受けたら（破損、ヒビなど）（46.4%）」が最多、次いで「インフラが止まったら（電気・ガス・水道）（42.7%）」となった。
- ④ **家庭でおこなっている地震・防災対策、「特に対策をしていない」が4人に1人。非常食を準備するも、3日分を「備えていない」が4人に1人。** [別紙 P.4～6]
 - 「非常用の食料・水を準備している（47.7%）」が最も多い。
しかし備蓄量の目安といわれている3日分を「備えていない」と回答した方が25.3%となった。

- 「特に対策をしていない」と回答した方は25.8%となった。
- 「避難グッズを用意している」「非常用の食料・水を準備している」と回答した方に「準備する際に重視したこと」を聞いたところ、「長期保存が可能なこと」が66.3%で最も多い。
次いで「自宅にストックができる・収納しやすい大きさであること（50.3%）」も過半数となった。
- 「非常用の食料・水を準備している」「避難グッズを用意している」と回答した方に、見直し・点検の頻度を聞いたところ、1年以内に見直しをしている方が合計で75.0%となった。

「地震」で自宅が被災した際の再建費用について

- ⑤ **自宅再建費用の準備は減少傾向。「特に準備をしていない」は3人に1人。** [別紙 P.7～8]
- 「地震保険（44.7%）」が最多となったが、「地震保険」を含め「共済等の地震保険以外の補償（17.6%）」「貯蓄やその他金融資産（27.6%）」すべてにおいて、準備していると回答した方が減少している。
 - 「特に準備はしていない（35.0%）」は昨年より0.6ポイント上昇した。
 - 現在加入している「保険や共済等の補償」で「不十分だと思う」が3人に1人以上。
「不十分だと思う（どちらかといえばを含む）（39.0%）」が、「十分だと思う（どちらかといえばを含む）（30.1%）」を上回った。
- ⑥ **「保険や共済等の補償」で備えているものは、「当面の生活再建費用」が約半数。**
自宅被災時に公的支援を受けるために必要な「罹災証明書」を「知らない」が3人に1人。 [別紙 P.8]
- 「当面の生活再建費用（47.4%）」が最多、次いで「自宅の再建費用（43.7%）」がともに40%超となり、再建費用に備えている傾向がみえた。
 - 罹災証明書を「知らない」と回答した方は34.1%となった。

9月1日「防災の日」について

- ⑦ **8割の方が「防災の日」を認知。** [別紙 P.9]
- 「防災の日」を「知っている」「聞いたことがある」と回答した方が、合わせて77.3%となった。

■アンケート調査の概要

項目	内容
タイトル	“地震・防災”に関するアンケート調査
調査期間	2024年7月24日（水）～8月4日（日）
調査方法	インターネットリサーチ
調査対象	性別：男女 年齢：20歳以上 住居形態：持ち家（一戸建て・分譲マンション） 地域：全国
有効回答数	1,111名
実施会社	株式会社ジャストシステム

※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。

【会社概要】

会 社 名：SBIいきいき少額短期保険株式会社

会社紹介：当社は、東証グロース市場上場「SBIインシュアランスグループ（株）」のグループ会社です。

「シンプルでわかりやすく」「保険料は手ごろに」というお客さまの声に応える保険商品を開発・提供しています。

死亡保険、医療保険はシニア層を中心に、ペット保険は犬・猫の病気やケガが気になる飼い主さまに、幅広く支持されています。万が一の地震に備える地震補償保険で皆さまの暮らしもサポートします。

所 在 地： 東京都港区六本木1-6-1

設立年月日： 2007年7月3日

資 本 金： 36,000千円

事業内容： 少額短期保険業 [関東財務局長（少額短期保険）第8号]

U R L： <https://www.i-sedai.com>

<本件に関するお問い合わせ先>

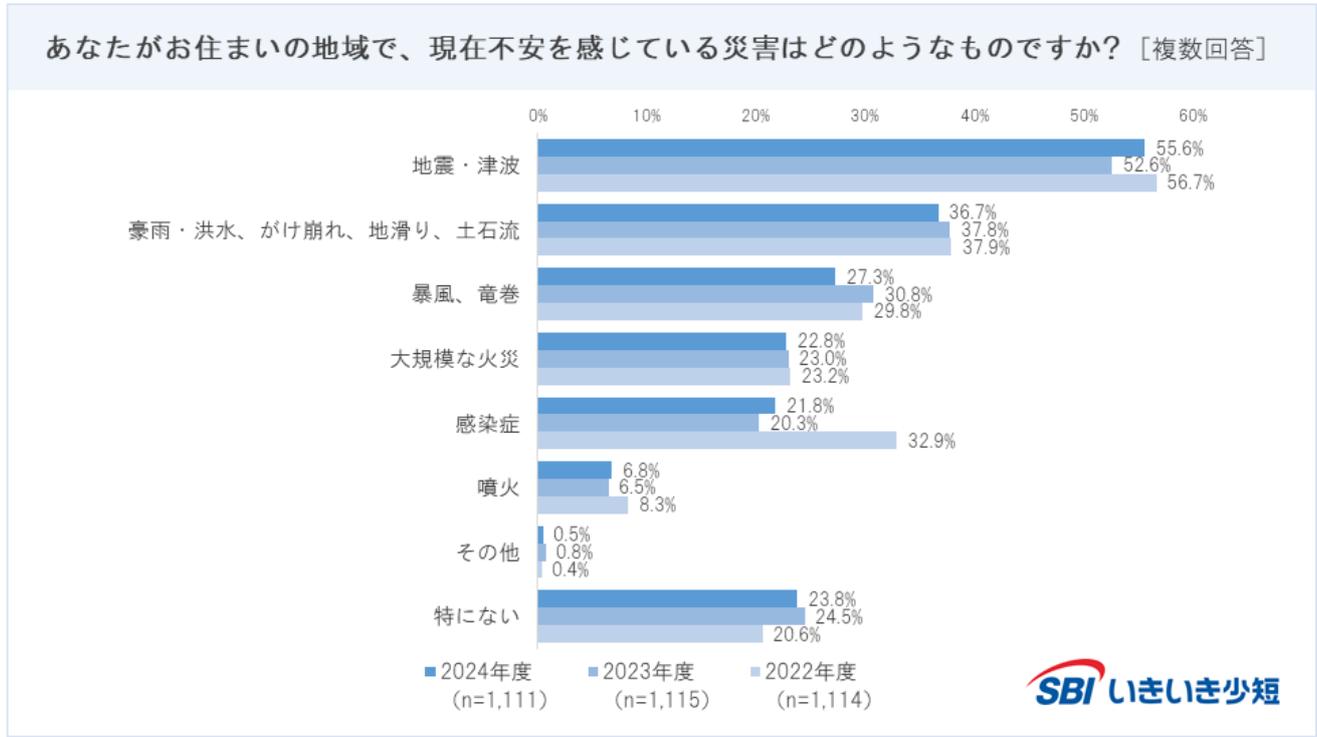
SBIいきいき少額短期保険株式会社 経営企画部 企画グループ

TEL：03（6856）4536 E-mail：[ikiiki_pr@i-sedai.com](mailto:iikiiki_pr@i-sedai.com)

■別紙 “地震・防災”に関するアンケート調査結果の詳細

【1】現在、不安を感じる災害について

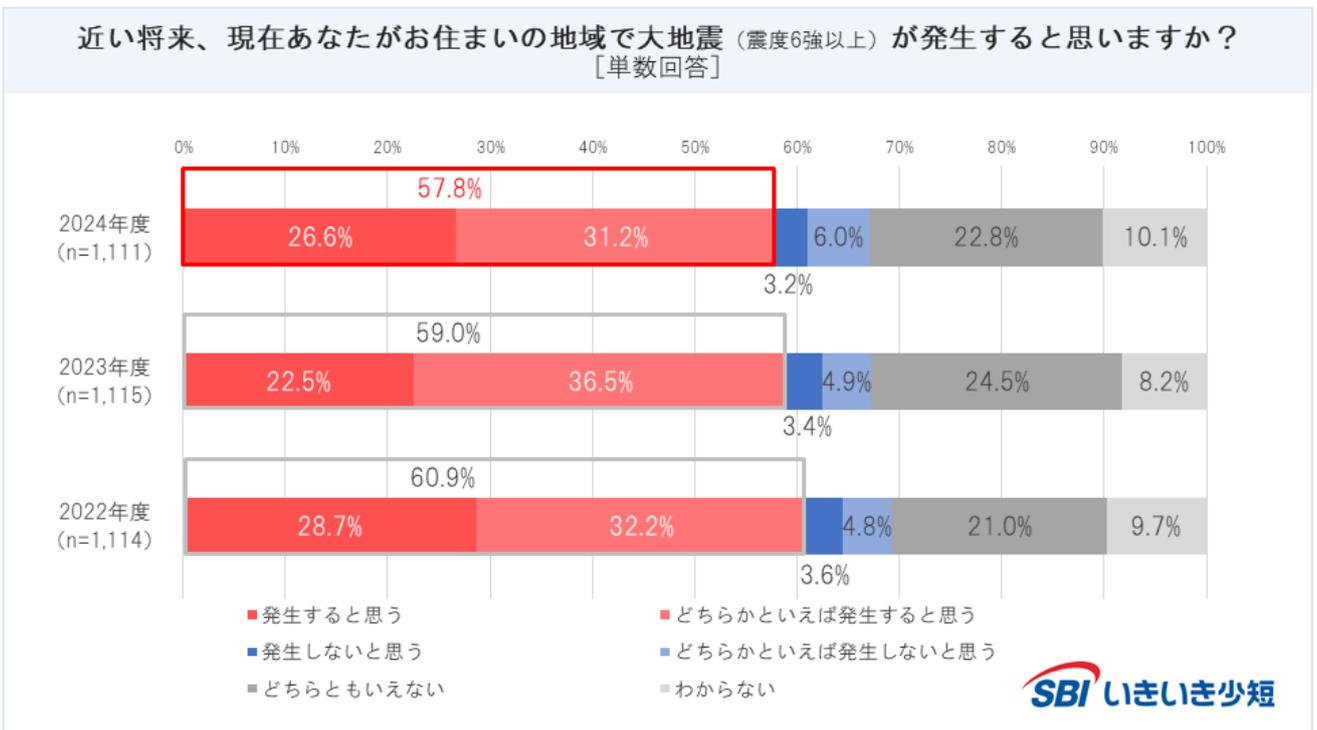
- 「地震・津波（55.6%）」が過半数で最も多い。



【2】大地震（震度6強以上※）発生の可能性、自宅が被害を受ける可能性について

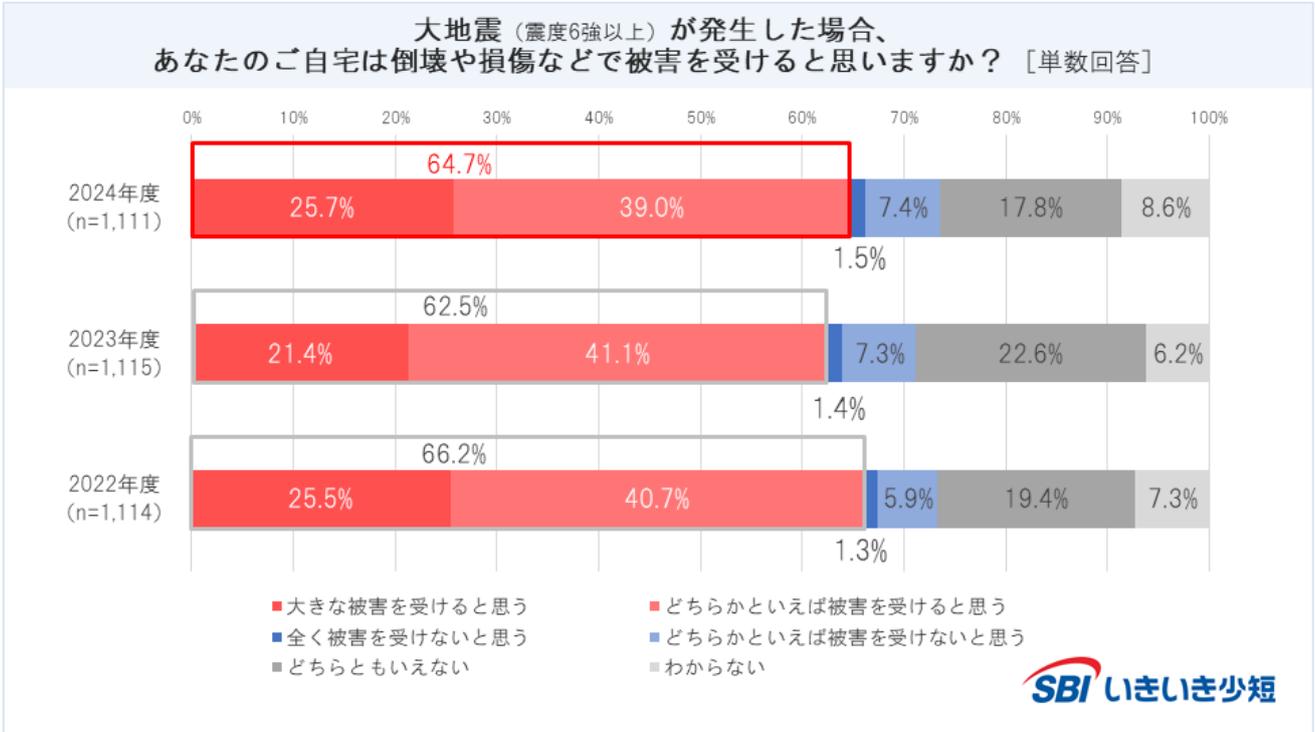
※震度6強の目安…人が立っていることができず、屋内では固定していない家具のほとんどが移動し倒れるものが多い状態（2022年度実施分より明記）

- 大地震（震度6強以上）が「発生すると思う（どちらかといえばを含む）」が57.8%となった。



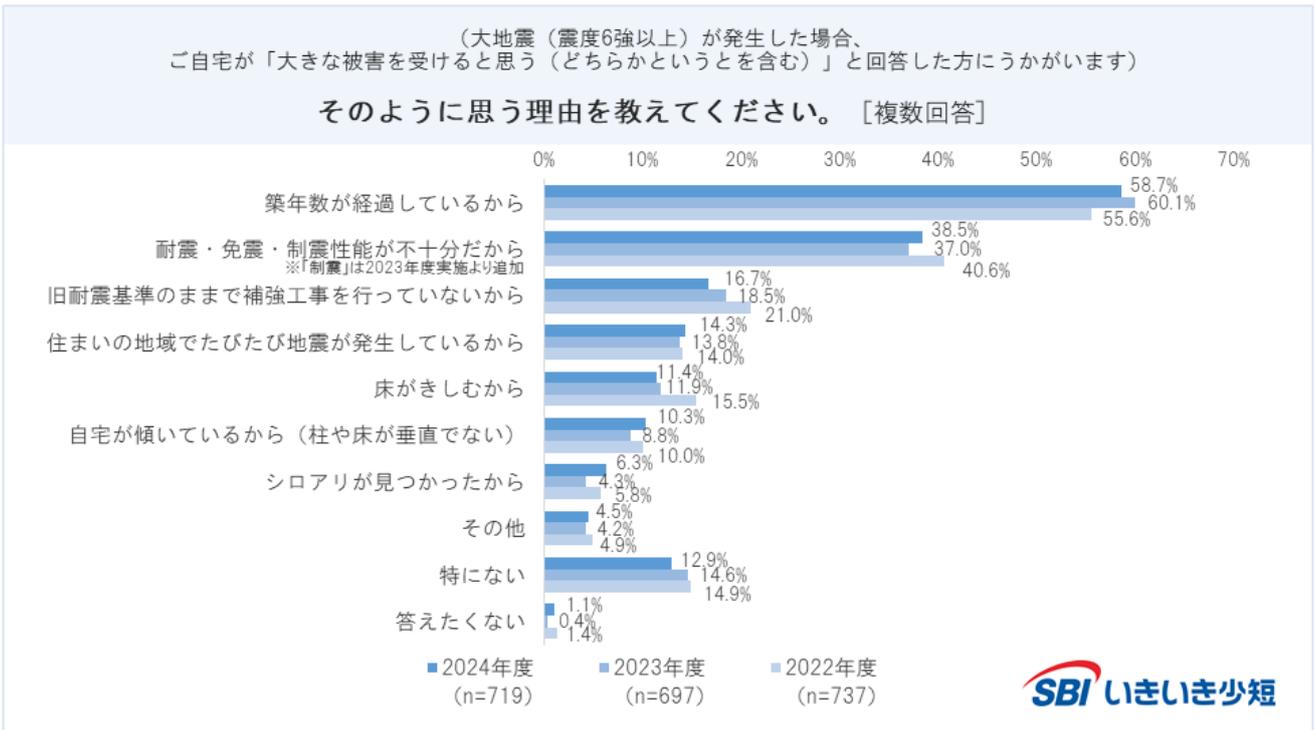
[2-1] 大地震（震度6強以上）発生時に自宅が被害を受ける可能性

- 「自宅が大きな被害を受けると思う（どちらかといえばを含む）」が64.7%で、昨年（62.5%）と比べて2.2ポイント上昇。



[2-2] 「被害を受けると思う（どちらかといえばを含む）」理由

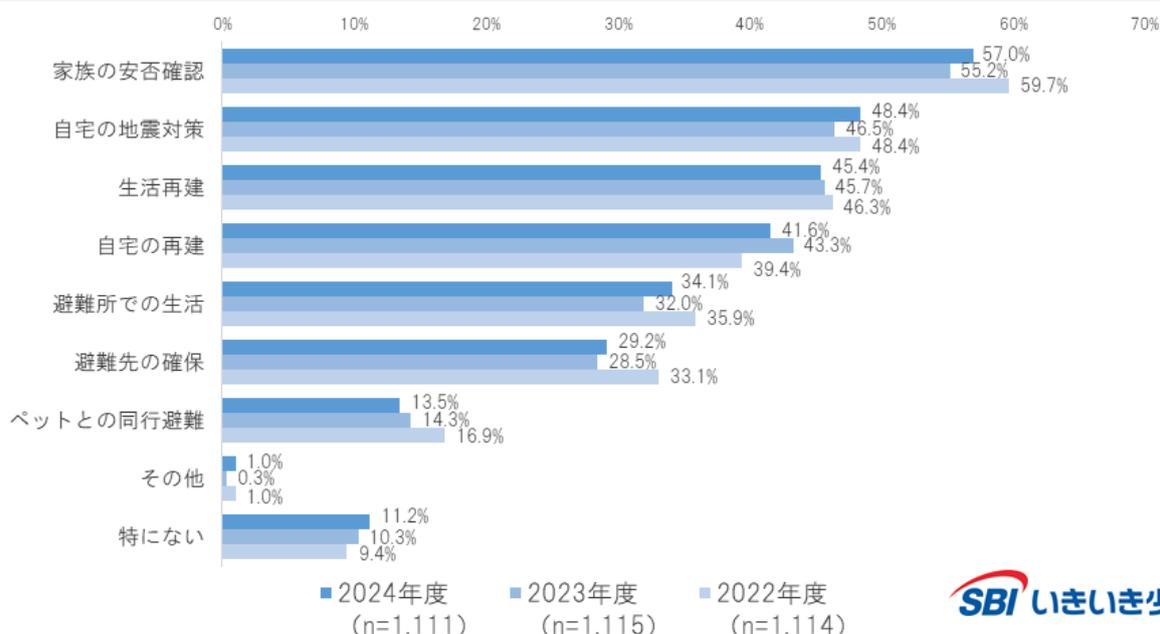
- 「築年数が経過しているから（58.7%）」が過半数で最も多い。
- 「耐震・免震・制震性能が不十分だから（38.5%）」「旧耐震基準のままで補強工事を行っていないから（16.7%）」と耐震・免震・制震が十分でないことが続いた。



【3】大地震（震度6強以上）発生時の不安について

- 「家族の安否確認（57.0%）」が過半数で最も多い。
- 「生活再建（45.4%）」「自宅の再建（41.6%）」と、再建に関する不安がともに4割超となった。

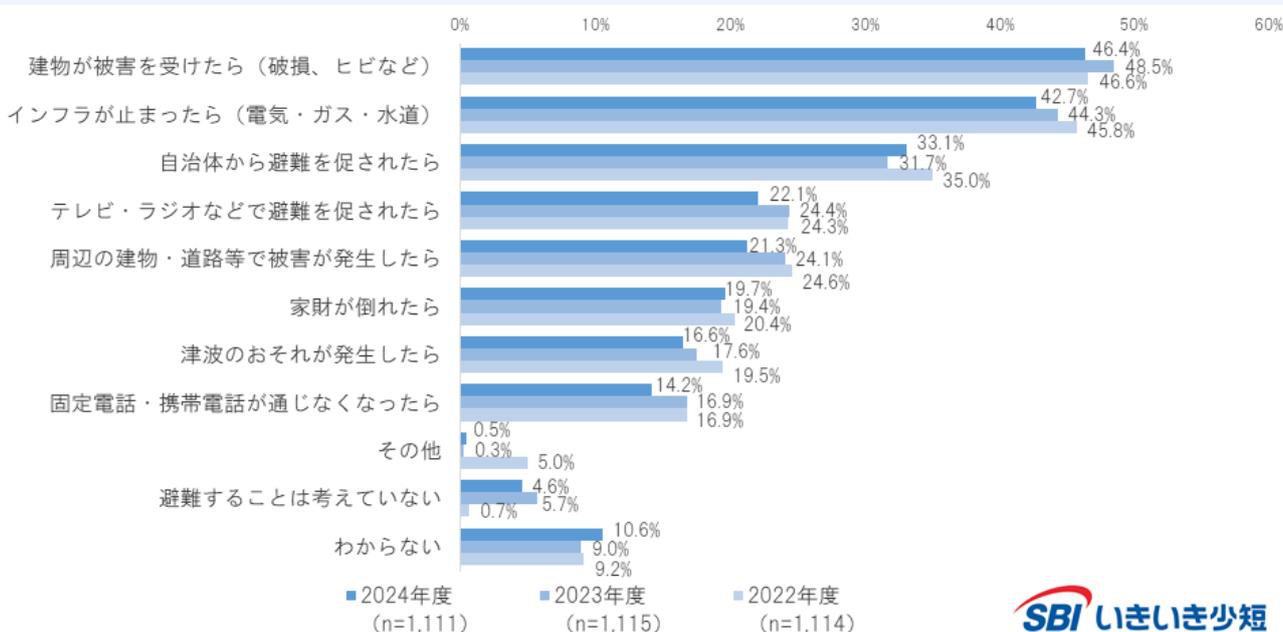
大地震（震度6強以上）が発生した場合、あなたが不安に感じることはどれですか？ [複数回答]



【4】大地震（震度6強以上）発生時に避難を考えるタイミングについて

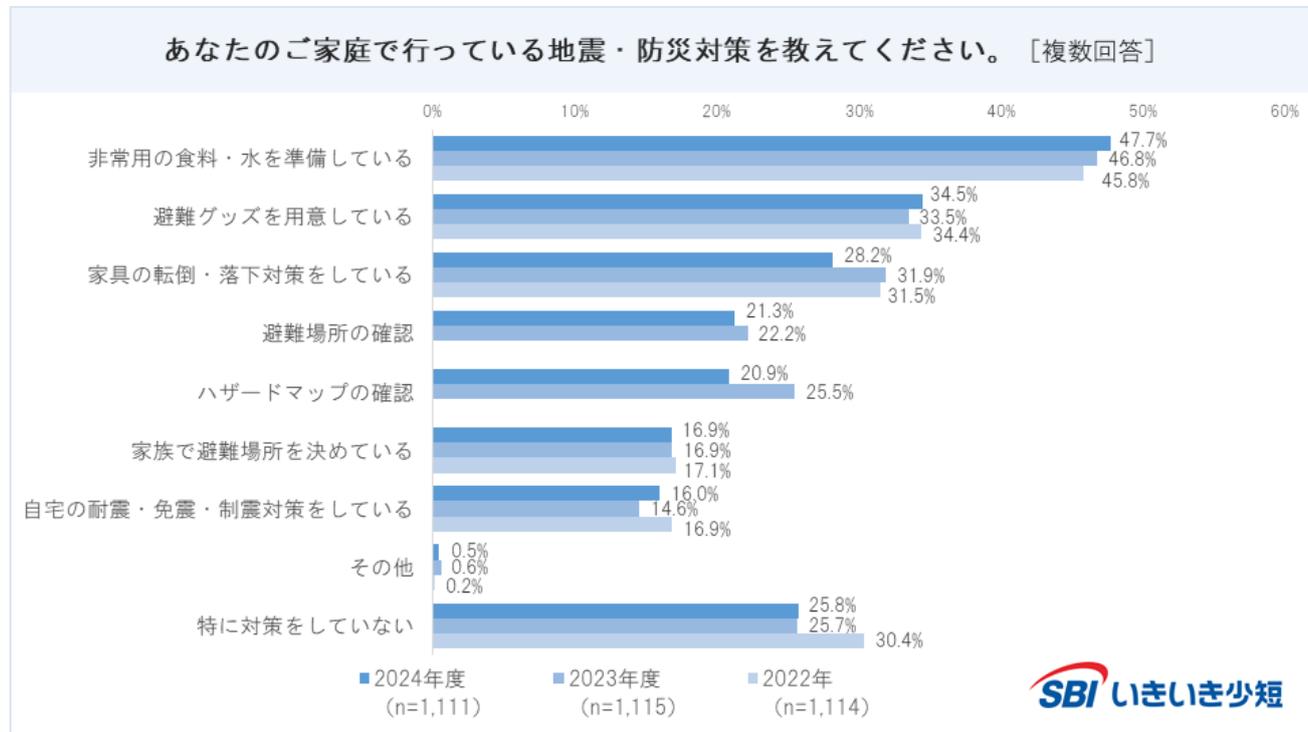
- 「建物が被害を受けたら（破損、ヒビなど）」が46.4%で最も多い。
- 次いで「インフラが止まったら（電気・ガス・水道）（42.7%）」となった。

大地震（震度6強以上）が発生した場合、避難を考えるのはどのタイミングですか？ [複数回答]

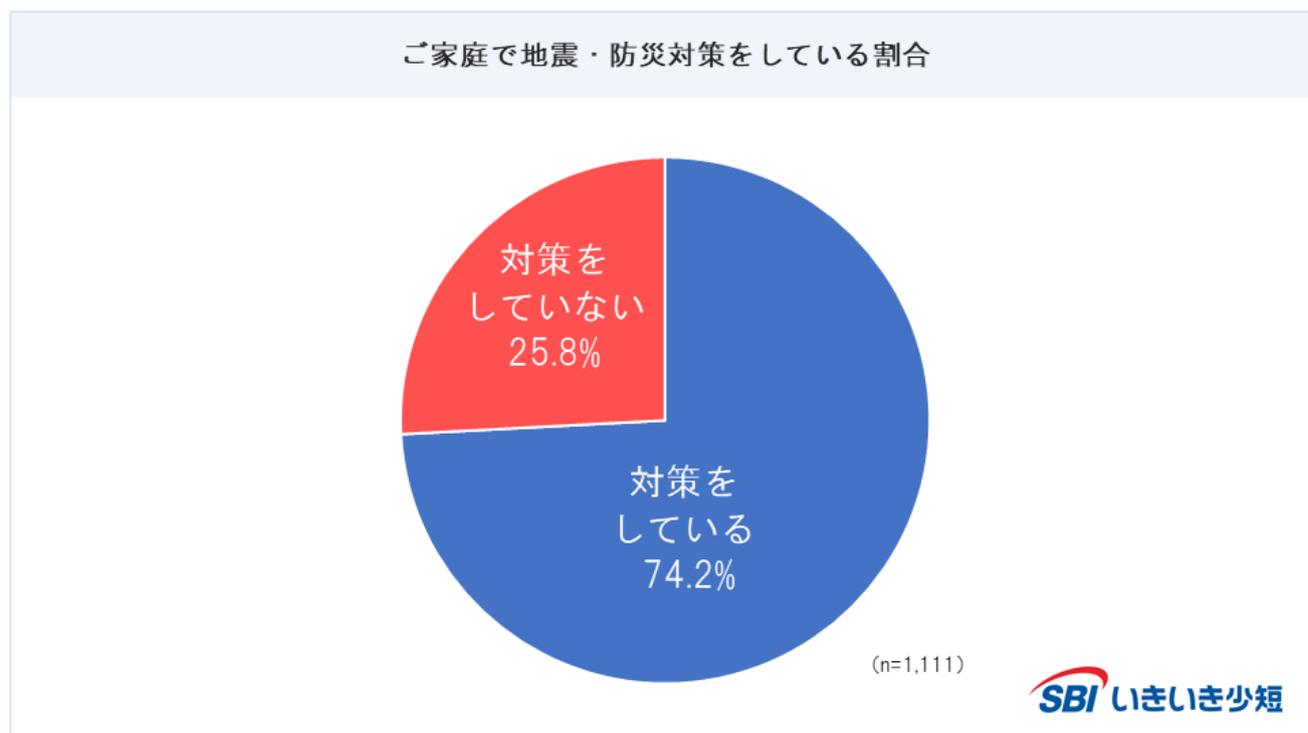


【5】 家庭で行っている地震・防災対策について

- 「非常用の食料・水を準備している」が47.7%で最も多い。

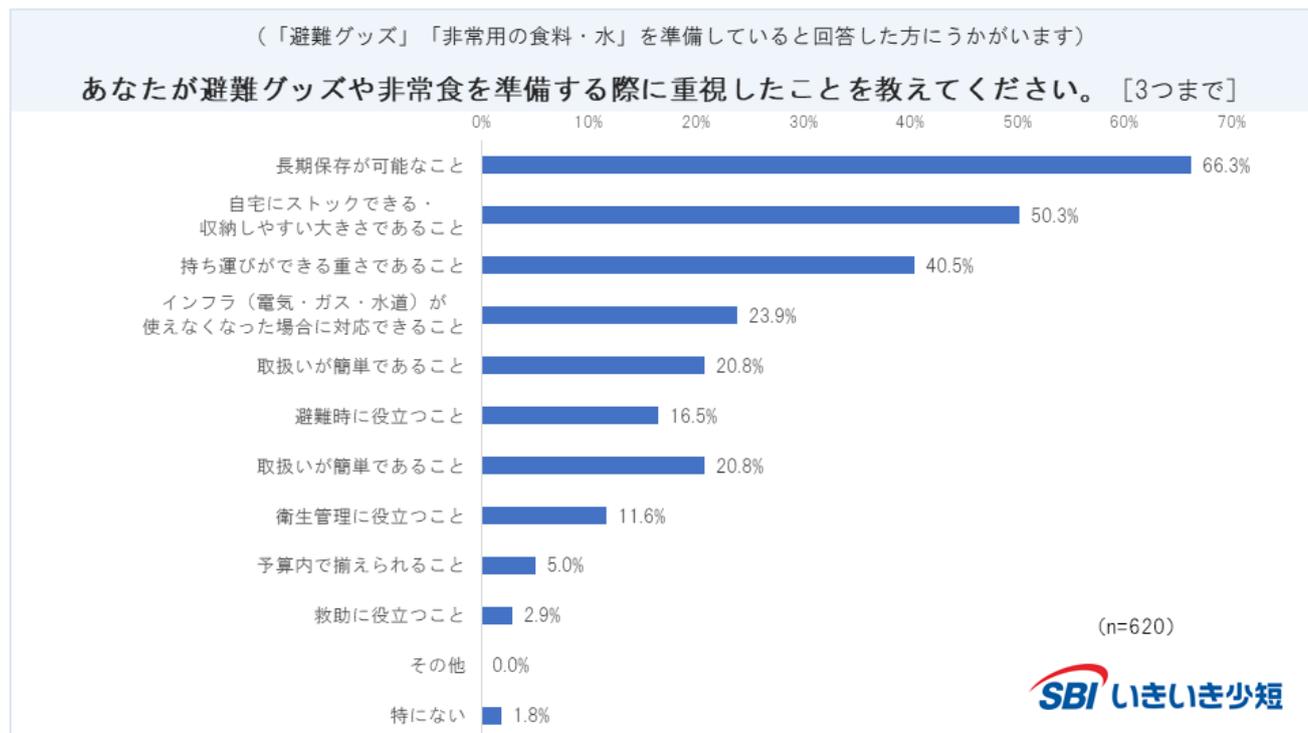


- 「対策をしていない」と回答した方は25.8%となった。



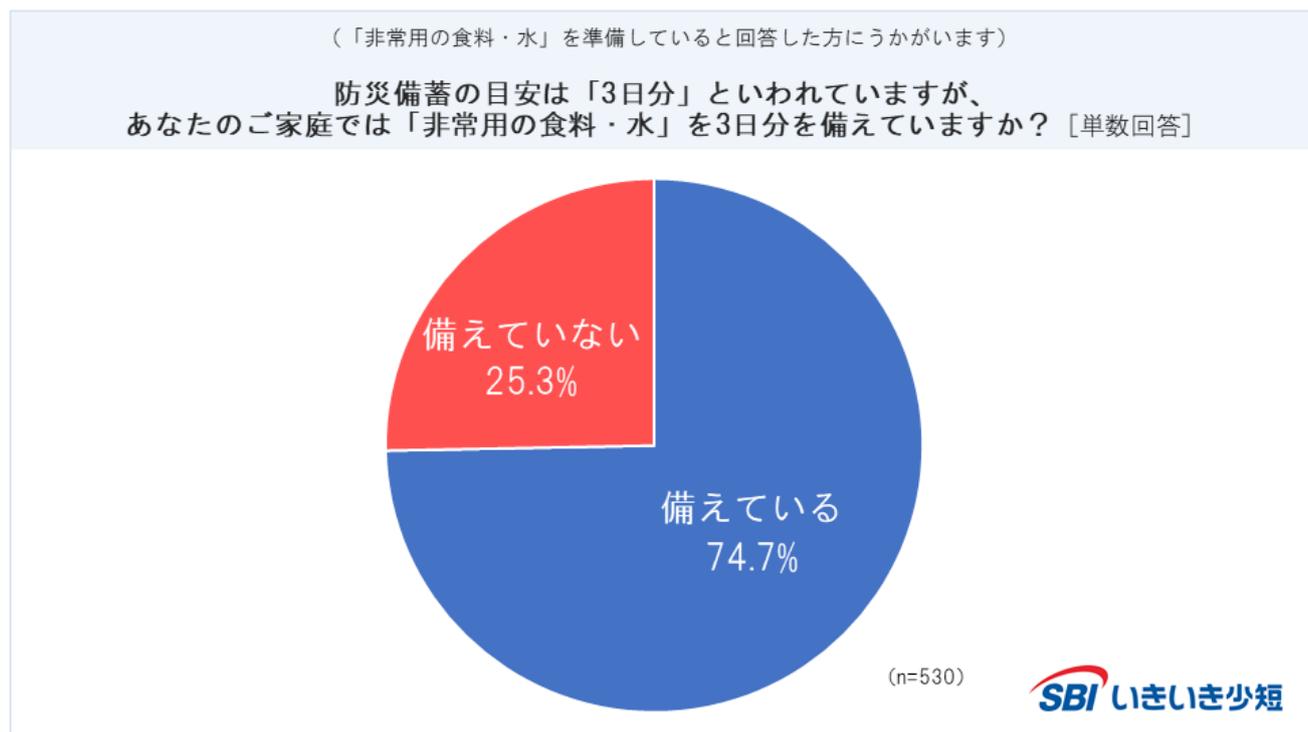
[5-1] 避難グッズや非常食を準備する際に重視したこと

- 「避難グッズを用意している」「非常用の食料・水を準備している」と回答した方に「準備する際に重視したこと」を聞いたところ、「長期保存が可能なこと」が66.3%で最も多い。
- 次いで「自宅にストックができる・収納しやすい大きさであること（50.3%）」も過半数となった。



[5-2] 「非常用の食料・水」を3日分備えているか

- 「非常用の食料・水を準備している」と回答した方に「3日分を備えているか」聞いたところ、「備えていない」が25.3%となった。

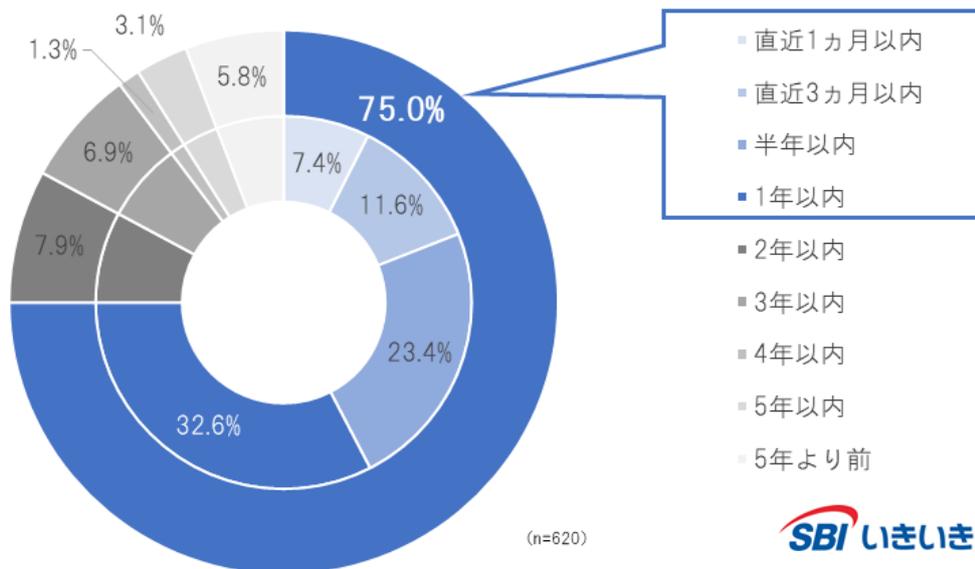


[5-3] 防災グッズの見直し・点検の頻度について

- 「避難グッズを用意している」「非常用の食料・水を準備している」と回答した方に「見直し・点検の頻度」を聞いたところ、1年以内に見直しをしていると回答した方が合計で75.0%となった。

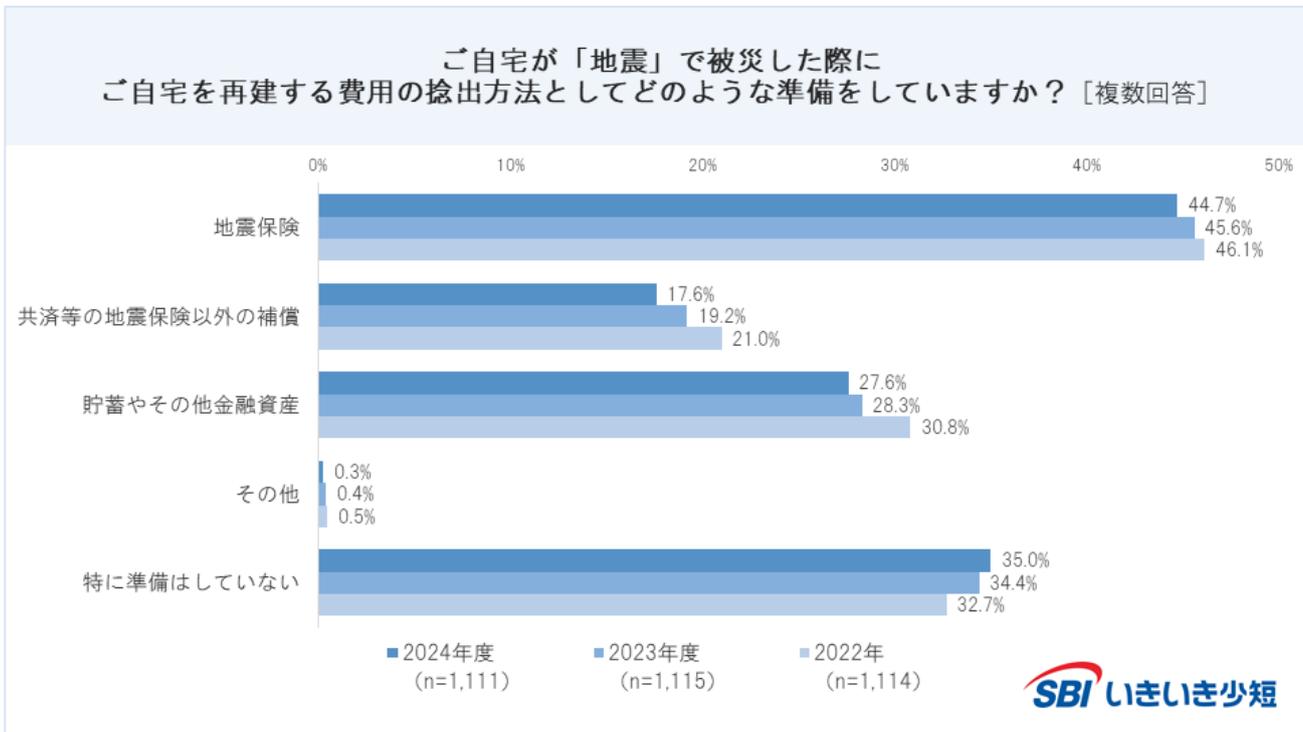
(「避難グッズ」「非常用の食料・水」を準備していると回答した方にうかがいます)

どのくらいの頻度で見直し・点検を行っていますか？ [単数回答]



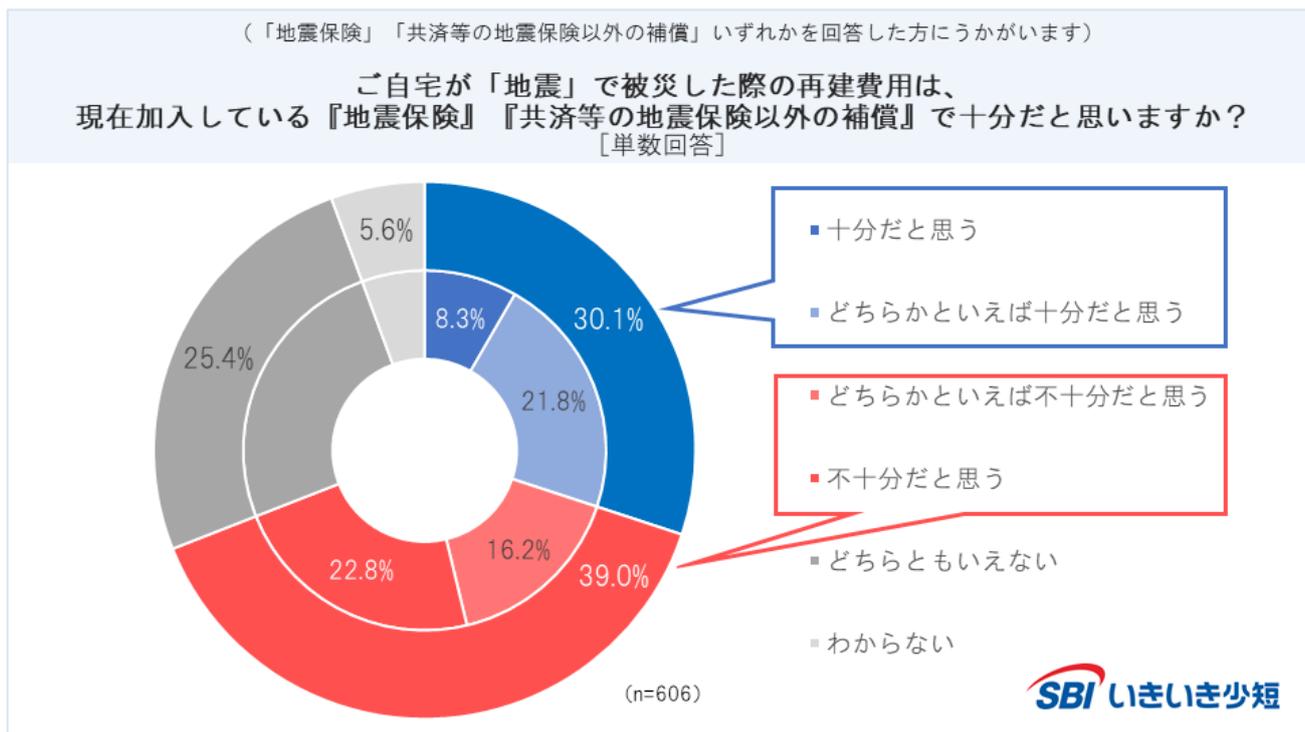
【6】 自宅が「地震」で被災した際の自宅再建費用の捻出方法について

- 「地震保険」が44.7%で最も多く、「共済等の地震保険以外の補償（17.6%）」「貯蓄やその他金融資産（27.6%）」のすべてにおいて、準備していると回答した方が減少している結果となった。
- 「特に準備はしていない（35.0%）」は昨年より0.6ポイント上昇した。



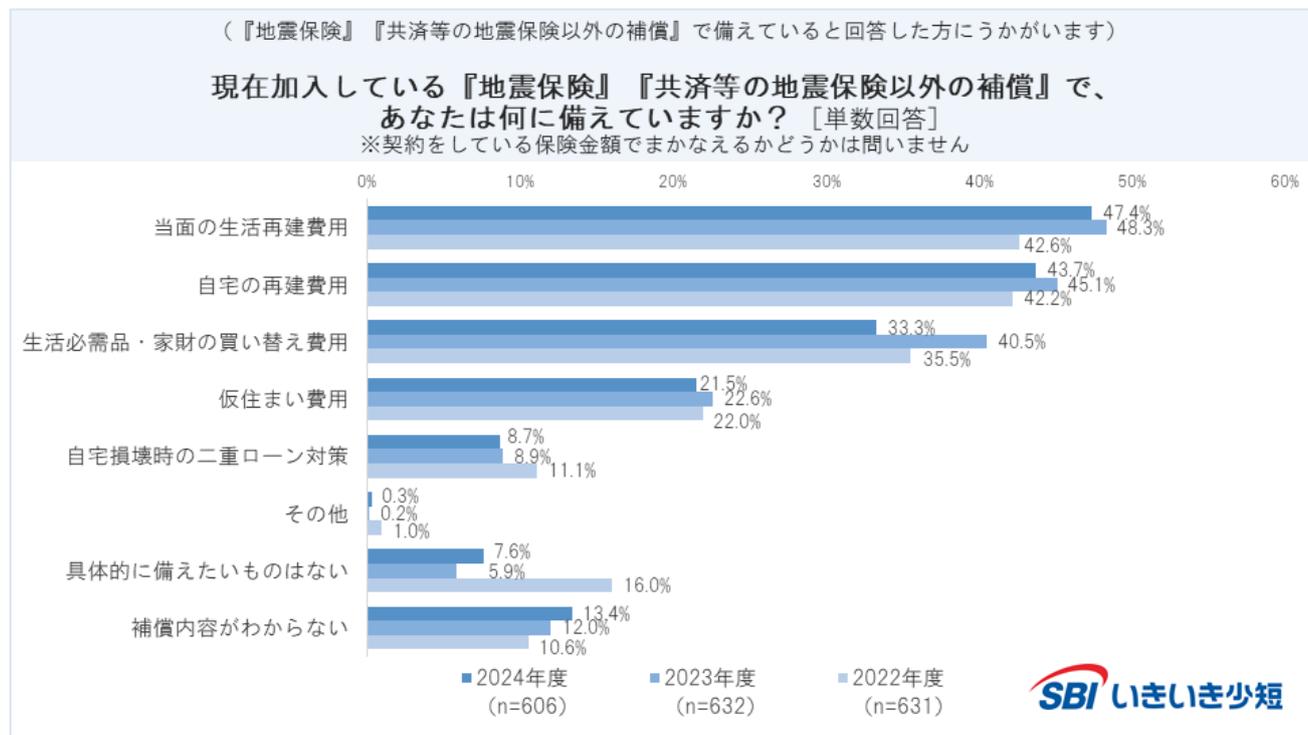
【6-1】 被災時の自宅再建費用として加入中の「地震保険や共済等の補償」は十分だと思うか

- 「不十分だと思う（どちらかといえばを含む）」が39.0%となり、「十分だと思う（どちらかといえばを含む）」の30.1%を上回った。



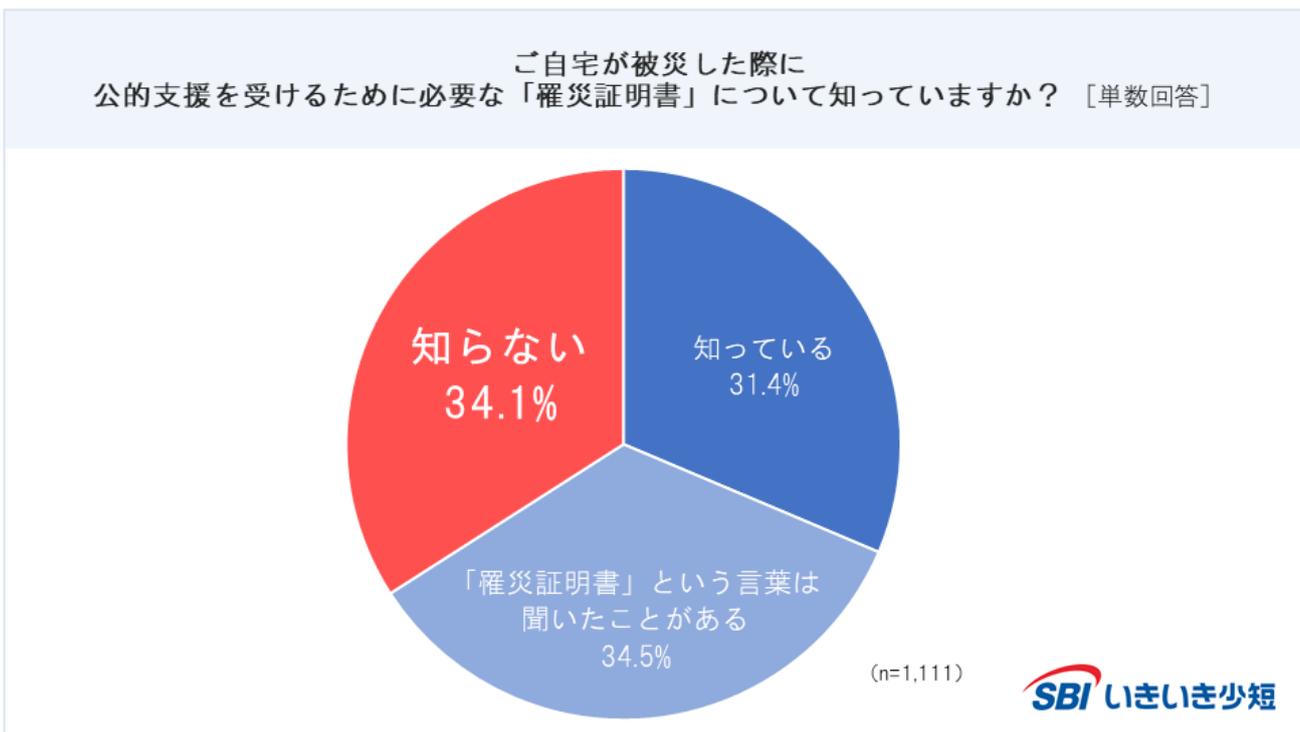
【6-2】「地震保険」「共済等の地震保険以外の補償」で備えているもの

- 「当面の生活再建費用（47.4%）」 「自宅の再建費用（43.7%）」 がいずれも 40%超となった。
- 地震保険や共済等の補償に加入しているものの「補償内容がわからない」と回答した方が 13.4%となった。



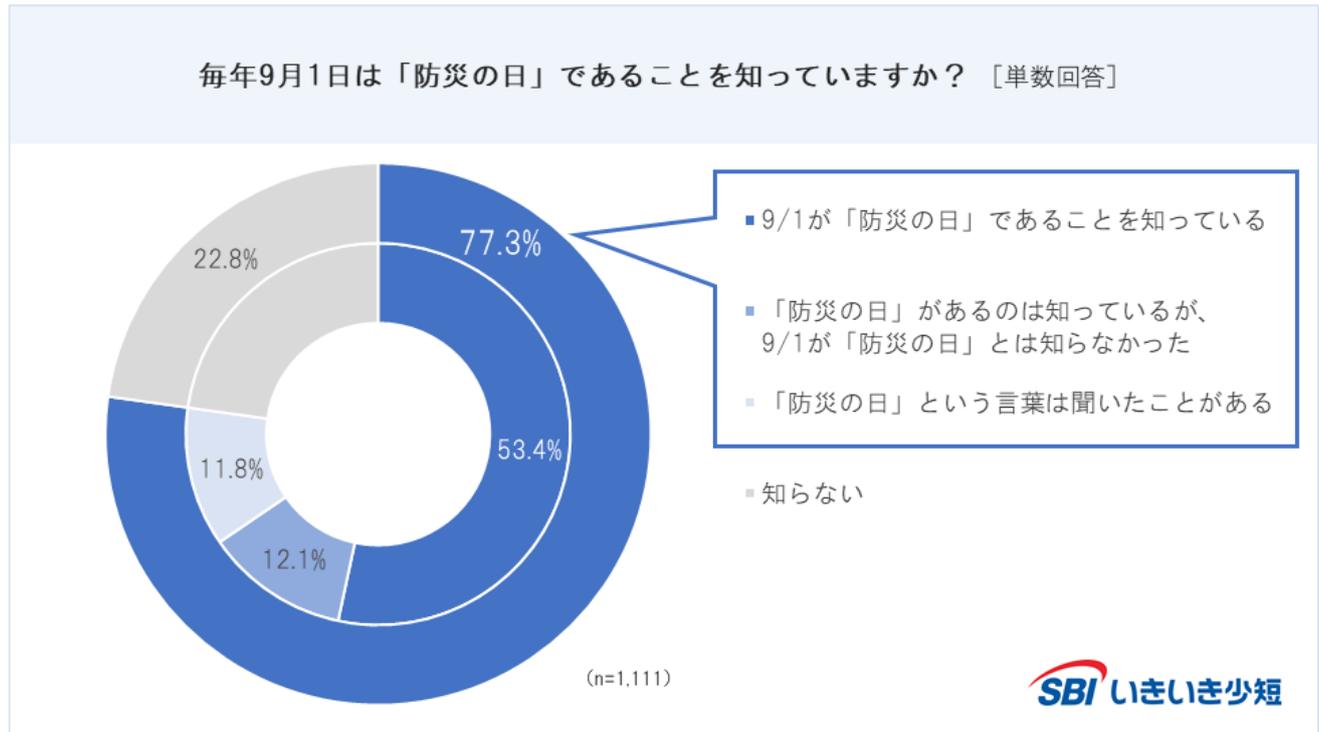
【7】「罹災証明書」について

- 「知っている（31.4%）」 「『罹災証明書』という言葉は聞いたことがある（34.5%）」を合わせると 65.9%となった。
- 「知らない」は34.1%となった。



【8】「防災の日」について

- 「9月1日が『防災の日』であることを知っている（53.4%）」、「『防災の日』があるのは知っているが、9月1日が『防災の日』とは知らなかった（12.1%）」、「『防災の日』という言葉は聞いたことがある（11.8%）」を合計すると77.3%の方が「防災の日」を知っている・聞いたことがあるという結果となった。



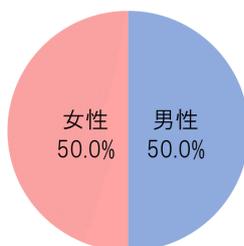
※参考「防災の日」について

毎年9月1日は「防災の日」とされ、この日を含む1週間が「防災週間」と定められています。

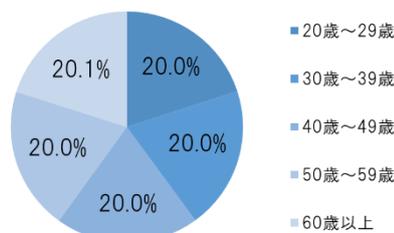
これは国や地方公共団体、国民が災害についての認識を深め、災害への備えを強化することで災害による被害の軽減、防止を図ることを目的としています。

■アンケート回答者属性 (n=1,111)

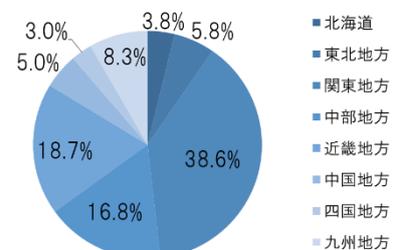
【1】男女別の割合



【2】年齢別の割合



【3】地域別の割合



※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。